MASPRO

CATV ステイタスモニターユニット

取扱説明書

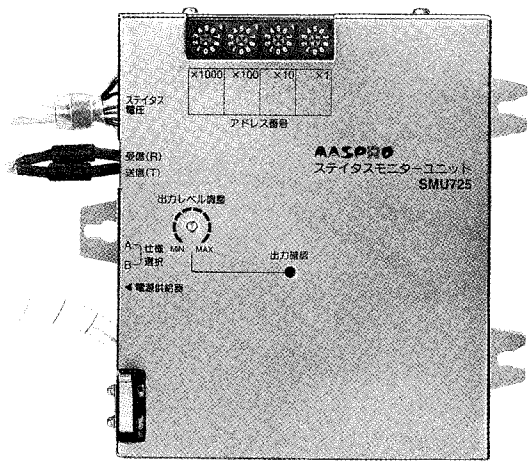
STATUS MONITOR UNIT

送信周波数　23.75MHz

受信周波数　74.25MHz

SMU725

双方向CATVアンプに取付けて，増幅器や無停電 電源供給器の作動状態をCATVセンターで監視できるようにするステイタスモニターユニットです。



SMU725 適合機器

双方向 CATV アンプ
77TA-30，77TD-30，77TB-30
77BA-30，77EA-30

MASter of PROduction
生産の匠者

大規模CATVに対応する機能

豊富な監視項目

SMU725は， 下りAGC作動レベル，内部温度，フタの開閉，ハウジング内への浸水など，15項目のアナログ，および，2値の監視機能を備えています。
また，仕様選択スイッチの切換えにより，標準機能仕様（日本CATV技術協会の標準化仕様と同じ項目）にも対応できます。

上りゲート開閉制御

双方向CATVアンプの上りゲートの開閉制御を，CATVセンターでおこなうことができますから，上り回線の流合雑音を最小限に保つことができます。

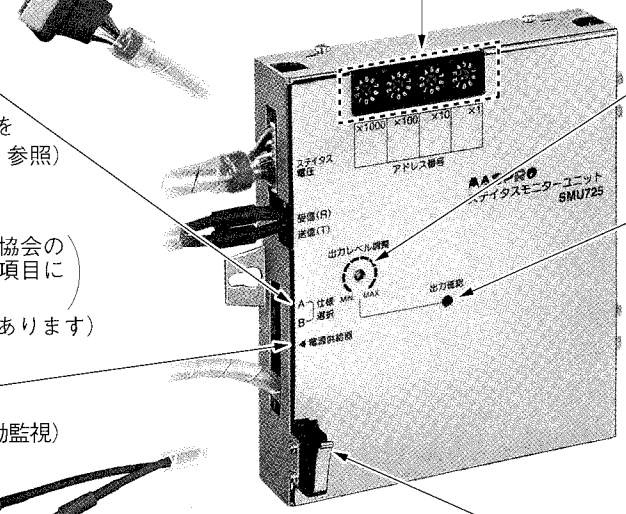
無停電 電源供給器インバーター作動の監視

無停電 電源供給器のインバーター作動監視端子と接続して， 商用電源の停止によるインバーターの作動を，CATVセンターで監視できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

親切・情報通信の
MASPRO
＝マスプロ電工＝

各部の名称と機能



ステイタス電圧コネクター

アドレス番号設定スイッチ

SMU725のアドレス番号を設定します。
（出荷時は，「０００００」に設定してあります）

出力レベル調整

出力信号（23.75MHz）のレベルを0～⊖15dBの範囲で連続して調整できます。

仕様選択スイッチ

ステイタスモニターの機能を選択します。（p.4「**規格表**」参照）

- ●A …… 多機能仕様
- ●B …… 標準機能仕様

（日本ＣＡＴＶ技術協会の標準化仕様と同じ項目に対応できます。）

（出荷時は「A」に設定してあります）

出力確認スイッチ

- ●SMU725の出力レベルを設定するとき，出力信号を送出させるスイッチです。
- ●スイッチを押している間，無変調の信号を送出します。
- ●細いドライバーなどで押してください。

電源供給器用端子

（電源供給器インバーター作動監視）

ハウジングフタ開閉状態センサー

ハウジングのフタの開閉状態を検出します。

RFコネクター［送信（T）］

RFコネクター［受信（R）］

浸水センサー

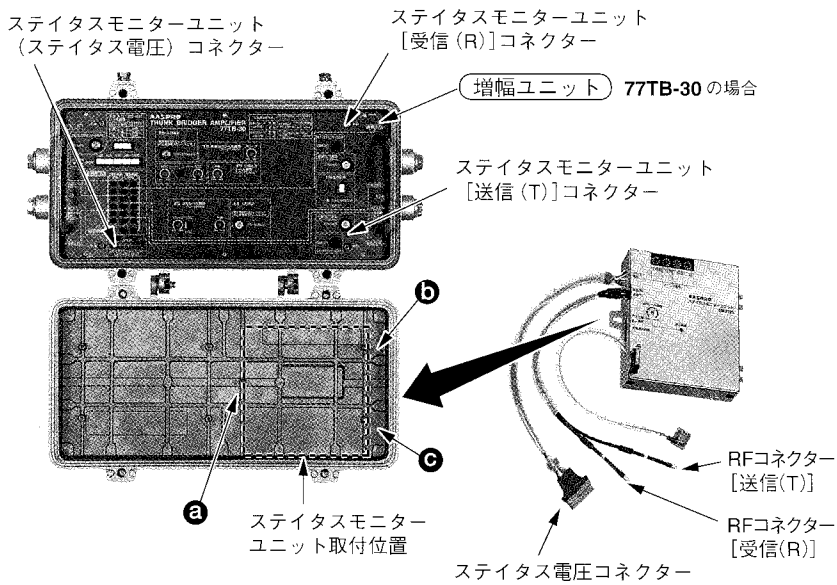
ハウジング内への浸水を検出します。
（「**浸水センサーの取付**」参照）

ユニットの取付

① SMU725を増幅器のフタに取付け，固定ビス ⓐⓑⓒ を締付けます。

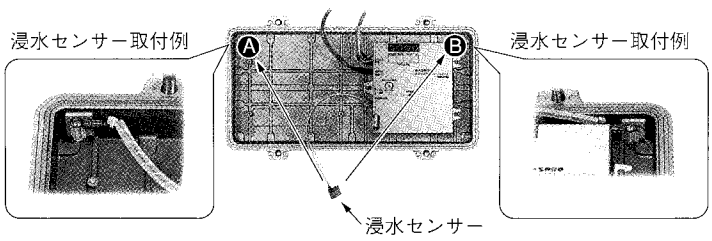
② 「ステイタス電圧コネクター」を増幅ユニットの「ステイタスモニターユニット（ステイタス電圧）」に接続します。

③ RFコネクター［受信（R）］，RFコネクター［送信（T）］を，増幅ユニットの「ステイタスモニターユニット［受信（R）］」，「ステイタスモニターユニット［送信（T）］」に接続します。



浸水センサーの取付

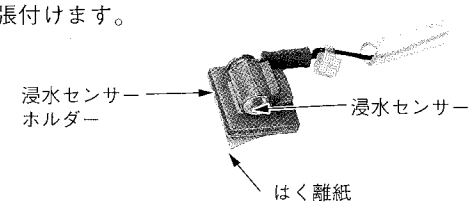
●浸水センサーは，ハウジングをメッセンジャーワイヤーに取付けた状態で，低くなる方（Ⓐ または Ⓑ）に取付けます。



ご注意

- ●浸水センサーは，ハウジング内部に接触しないように取付けてください。接触すると，ステイタスモニターは誤作動します。
- ●浸水センサーを張付ける面の油分・水分・ホコリ等を，必ず拭き取ってください。

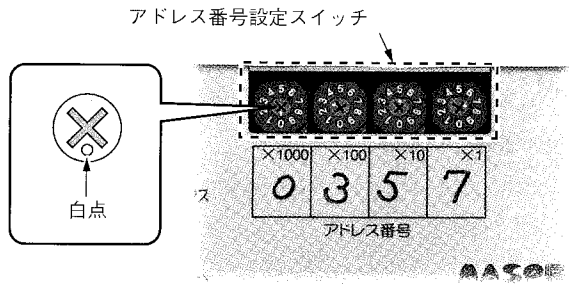
●浸水センサーは，ホルダー裏側のはく離紙をはがして張付けます。



アドレス番号の設定

調整用ドライバーで「アドレス番号設定スイッチ」を回し，「白点」を設定する「番号」に合わせます。

- アドレス番号は，0001～9999まで，任意の番号を設定することができます。
- 設定後は，アドレス番号をユニットの表示枠内に記入しておくと，メンテナンスのときに便利です。



（アドレス番号を0357に設定した例）

出力レベルの設定

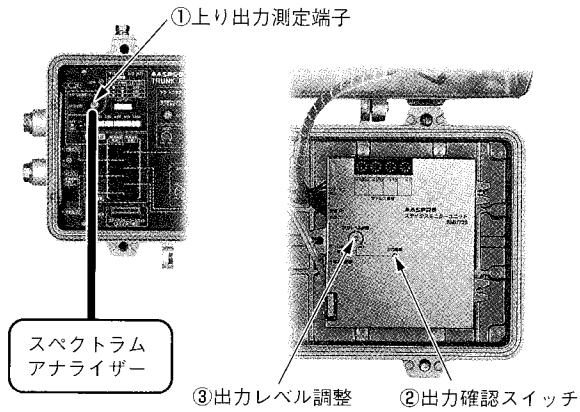
ご注意

出力レベルを設定するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと，こわれることがあります。

① スペクトラムアナライザーを，増幅器の上り出力測定端子に接続します。

② **SMU725**の「出力確認スイッチ」を押しながら23.75MHzのレベルを測定します。

③ **SMU725**の「出力レベル調整」を調整用ドライバーで回して，運用レベルより10dB低い値に調整します。詳しくは，増幅器の取扱説明書の「標準入・出力レベル表」をご覧ください。



無停電 電源供給器との接続

無停電 電源供給器側の接続は，電源供給器の取扱説明書をご覧ください。

接続には，別売の変換アダプター**FTFJ**と，別売のステイタスモニターケーブル**SMCC29**が必要です。

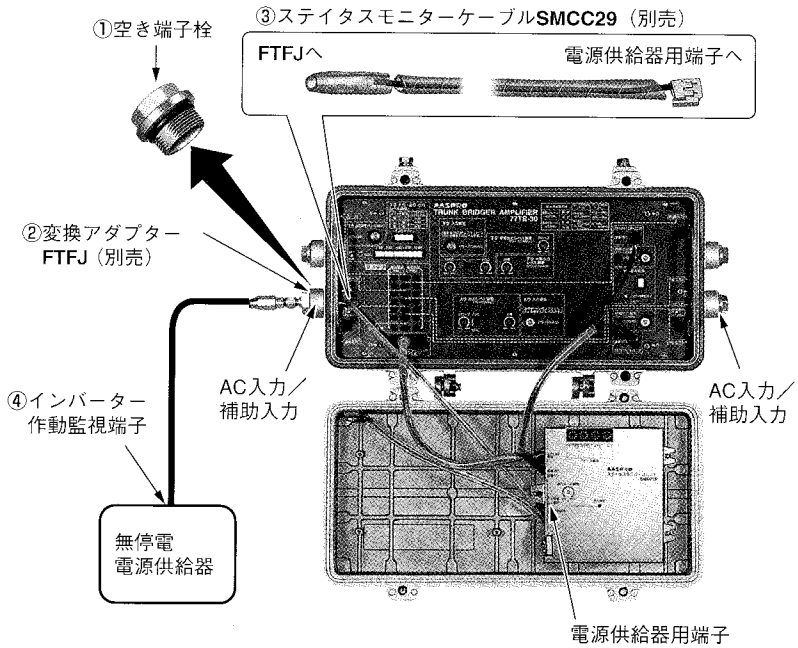
①「AC入力／補助入力」の空き端子栓を外します。

② 別売の変換アダプター**FTFJ**を取付けます。

③ 別売のステイタスモニターケーブル**SMCC29**を，**SMU725**の「電源供給器用端子」と変換アダプター**FTFJ**へ接続します。

④ 変換アダプター**FTFJ**と，無停電 電源供給器の「インバーター作動監視端子」を接続します。

（写真は，左側の「AC入力／補助入力」を使用して接続した例です。右側の「AC入力／補助入力」も同様に使用できます。）



正しく使用していただくために

ステイタスモニターユニットが正常に作動しないときは，次のチェックをしてください。

アドレス番号は，正しいですか。
- ●アドレス番号設定スイッチのチェック

仕様の設定は，正しいですか。
- ●仕様選択スイッチのチェック

接続用のコネクタープラグは，正しく根元まで挿入してありますか。
- ● RFコネクター・ステイタス電圧コネクターのチェック（**SMU725**と増幅ユニットの接続）
- ● ステイタスモニターケーブル**SMCC29**のチェック

以上の方法でもトラブルが解決できない場合，お近くの当社支店・営業所か，本社技術相談にお問合わせください。

規格表

MASPRO

項目	規格
送信周波数	23.75MHz（占有帯域幅 ±250kHz）
受信周波数	74.25MHz
変調方式	FSK（受信）／PSK（送信）
データ信号伝送速度	9600bps
搬送波ON・OFF比	60dB以上
最大出力レベル	93dBμ
出力レベル調整範囲	0～⊖15dB以上（連続可変）
入力レベル範囲	39～62dBμ
スプリアス	⊖60dB以下　※1 （**SMU725**の出力レベルが93dBμのとき 10～55MHz，70～771.25MHzの帯域において）
入・出力形式	無電圧接点入力 （出力電圧DC5V±0.25V，電流13mA最大）　※2
電源	DC12 V
外観寸法	140（H）×142（W）×41（D）mm
質量（重量）	約500g

※1 ステイタスモニターユニットを取付けた増幅器を含む出力特性です。

※2 監視可能な無停電 電源供給器は，**MPS603 CD2**，**MPS603SFT**，**MPS605SFT**，**MPS605SFT2**，**MPS605T2**，**MPS605E**，**MPS615ACS**，**MPS615ACSB**

監視・制御項目

項目			(A)多機能仕様	(B)標準機能仕様
2値監視	AGC/MGC作動状態	下り幹線増幅部	○	—
		上り幹線増幅部	○	—
	下り幹線増幅部AGC作動レベル		○	○
	停電作動　※2		○	○
	上りゲート開閉		○※3	○
	フタ開閉		○	○
	浸水		○	○
	DC電圧		○	○
アナログ監視	AGC作動レベル	下り幹線増幅部	○	○
		上り幹線増幅部	○	○
	AC電圧		○	○
	DC電圧		○	○
	DC電流		○	○
	内部温度		○	○
制御	上りゲート開閉		○※3	○

※3 2回路あります。

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

情報通信・CATVの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部　TEL名古屋(052)802－2244
工事営業部　〃　(052)802－2225
技術相談　〃　(052)805－3366
インターネットホームページ　www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄　(098) 854-2768
鹿児島　(099) 226-9200
宮崎　(0985) 25-3877
熊本　(096) 381-7626
長崎　(095) 846-6872
福岡(支)　(092) 531-3861
北九州　(093) 941-4026
下関　(0832) 55-1130
徳山　(0834) 32-2954
広島　(082) 230-2351
松江　(0852) 21-5341
岡山　(086) 252-5800
松山　(089) 973-5656
高知　(088) 882-0991
高松　(087) 865-3666
姫路　(0792) 34-6669
神戸　(078) 843-3200
大阪(支)　(06) 6635-2222
工事営業部　(06) 6632-1144
京都　(075) 341-0595
和歌山　(073) 473-8867
津　(059) 234-0261
岐阜　(058) 275-0805
名古屋(支)　(052) 802-2233
工事営業部　(052) 804-6262
豊橋　(0532) 33-1500
静岡　(054) 283-2220
松本　(0263) 57-4625
福井　(0776) 23-8153
金沢　(076) 249-5301
新潟　(025) 287-3155
横浜　(045) 784-1422
渋谷(支)　(03) 3409-5505
工事営業部　(03) 3499-5631
秋葉原　(03) 3255-7335
青戸　(03) 3695-1811
八王子　(0426) 37-1699
千葉　(043) 232-5335
大宮　(048) 663-8000
前橋　(027) 263-3767
水戸　(029) 248-3870
宇都宮　(028) 660-5008
郡山　(024) 952-0095
仙台　(022) 786-5060
盛岡　(019) 641-1681
秋田　(018) 862-7523
青森　(017) 742-4227
函館　(0138) 53-7355
札幌　(011) 782-0711
釧路　(0154) 23-8466
旭川　(0166) 25-3111
北見　(0157) 61-0480

2K55-139
B010-4139-1L
OCT., 2000